

# 平成29年度共同研究「企業の教材開発に対する技術支援」 第三四半期 活動報告！！

平成29年4月から生産技術科 黒木 猛教授を中心に、平成29年度共同研究「企業の教材開発に対する技術支援」を実施しています。九州職業能力開発大学校では、福岡県を中心とした企業様と装置開発や人材育成に関する様々な共同研究を実施しています。その一環として北九州市在住の企業様と人材育成を目的とした教材開発をしています。

今回の共同研究の主な目的は以下の3点です。

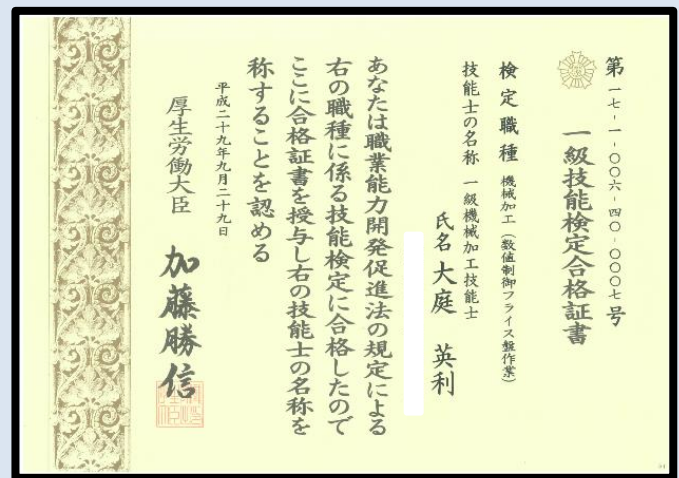
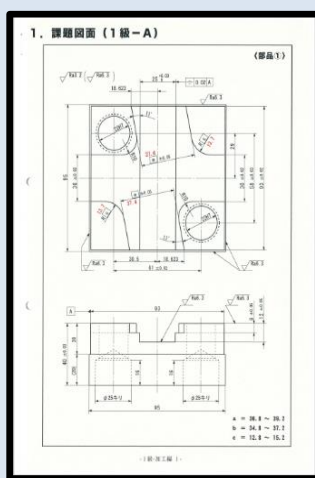
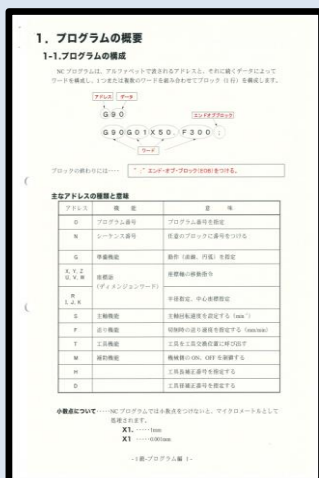
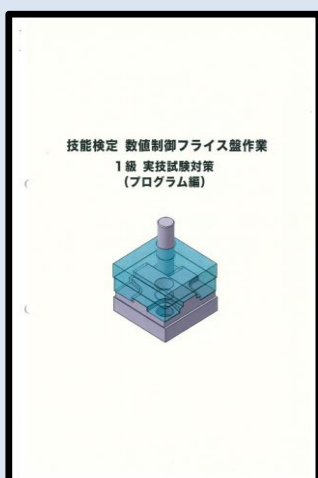
- ① 技能検定に向けた技能習得と「数値制御フライス盤作業1級」の取得。
- ② 技能検定用「指導マニュアル」の教材開発。
- ③ 開発した教材を用いた人材育成（後輩職員の指導）。

この第三四半期では、第2点目の目標である「技能検定を通しての教材開発」ということで、「指導マニュアル」を完成しました。第3点目の目標である「人材育成（企業の後輩職員の指導）」については先ず「技術研修」という形で実施し、来年の1月以降に正式な能力開発セミナーを計画しました。また、本共同研究の成果を「職業能力総合大学校フォーラム2017」および「精密工学会九州支部第18回学生発表会」で発表しました。そして、精密工学会の発表では発表した宮崎君が、「企業特別賞：唐津プレジジョン賞」を受賞しました。（文責 八崎）

共同研究の名称：企業の教材開発に対する技術支援

共同研究の期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

共同研究のメンバー：大庭英利、黒木猛、楠元智久、福原祥雅、宮崎大和、八崎透



開発した指導マニュアルの1例

数値制御フライス盤技能検定1級合格証



後輩職員に対する「技術研修」の実施



総合大フォーラム2017および精密工学会での発表風景



企業特別賞  
唐津プレジジョン賞